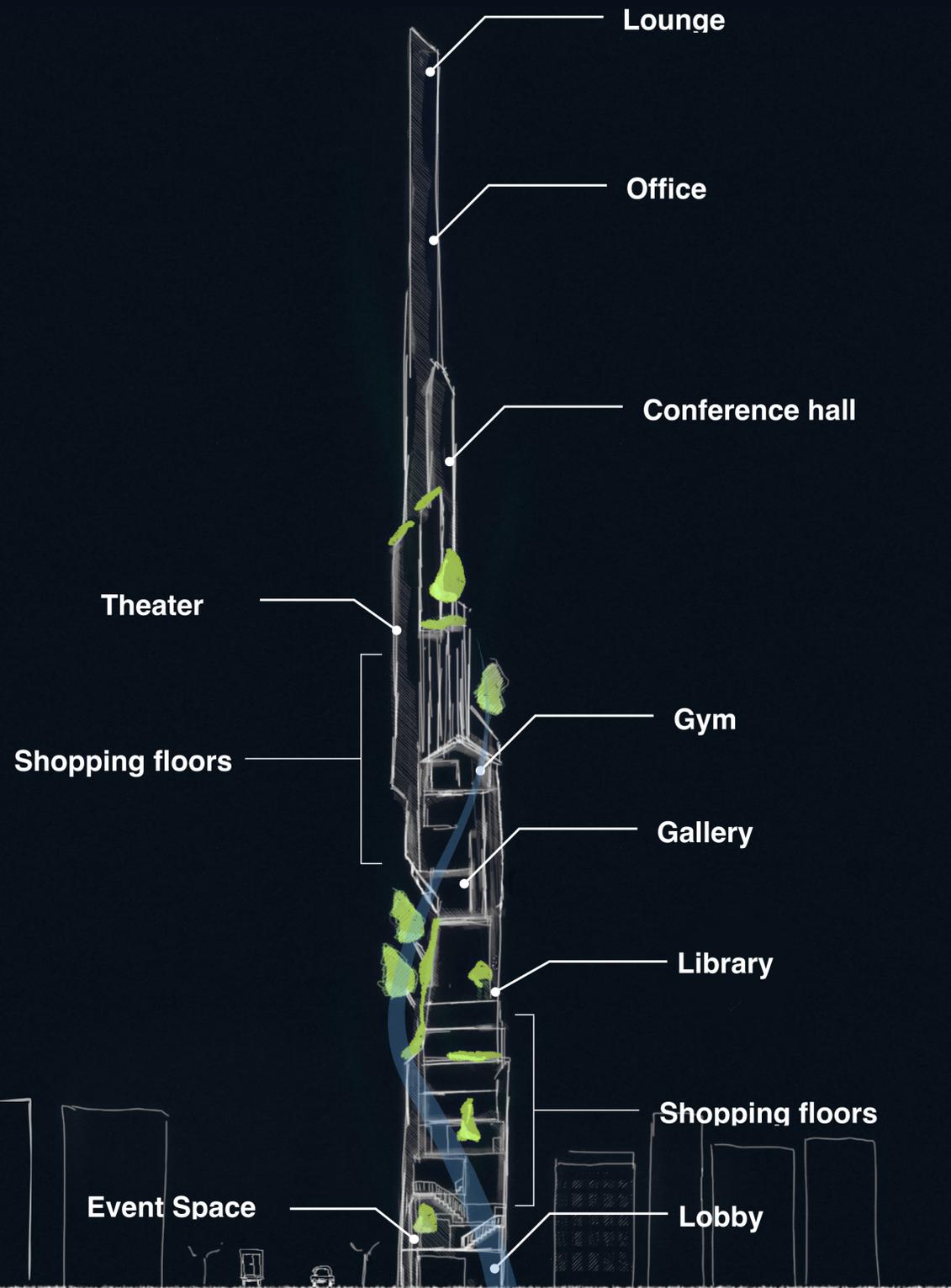
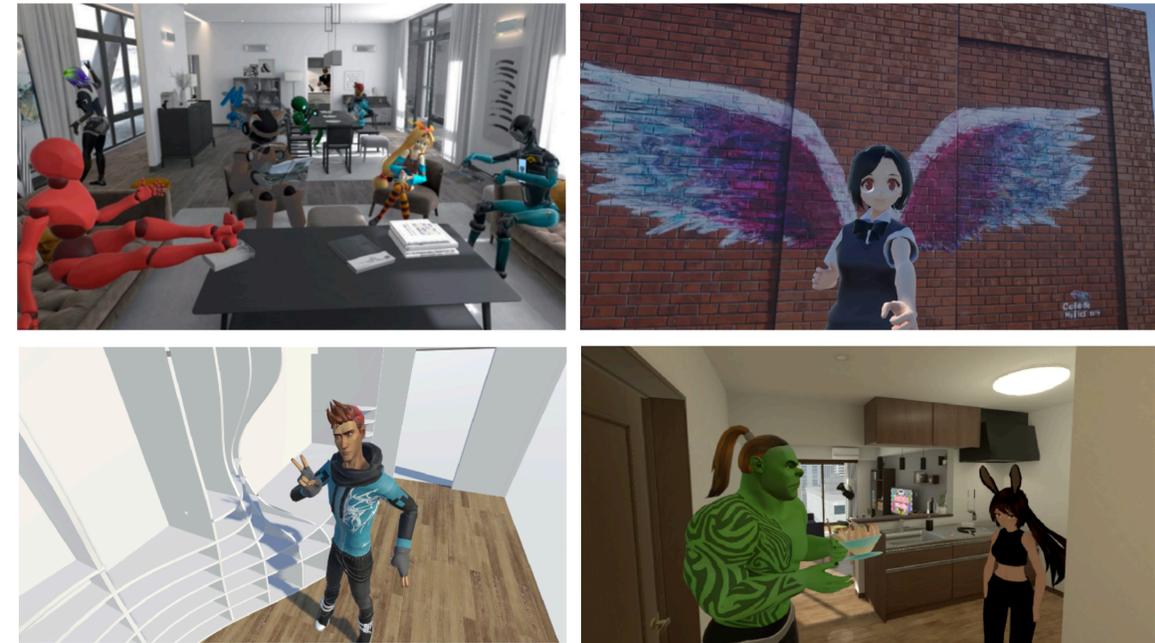


ANOTHER SONY PARK



IDEA

商業ビルが立ち並ぶ銀座のど真ん中にぽっかりと空いた『SONY PARK』。この土地に、“バーチャルな”超超超高層ビルを建設する。現実では見えないこのビルの中には、銀座『SONY PARK』を住所を持ったアパレルブランド等のネットショップや、バーチャル市民たちが使うミーティング・イベントスペース等が入る。人々はスマホやPCからこの仮想空間にアクセスできる。



詳細

バーチャル空間を活用したプラットフォームは、インターネットサイトと同様に現在際限なく広がっている。本提案は、このVR空間をあえて銀座の土地に紐付けることで有限的存在として扱う。

具体的には、何も建ってないSonyParkの空中権を担保に、“仮想超超超高層ビル”を建てて、そのVR空間を不動産として販売。例えば既に「.jp」のインターネットアドレスが信頼度が高く、さらに「.co.jp」は世界最高の信用性があるように、このAnotherSonyParkというバーチャル上の空間は、銀座の一等地によって担保されることで、初の実在のない資産的価値と、信用性を持ち合わせたバーチャルアドレスを持つ場となる。

銀座の一等地に何も建ってない土地だからこそ、“仮想”ビルを不動産として販売する新しいビジネスモデル。これで未建設の土地での収益が可能となれば、現実のまちにも公園やパブリック空間がより整備されていくだろう。現状設けられているパーク地下のスペースで、ディスプレイやARなどを通じた、半リアル・半バーチャル体験を提供すれば、AnotherSonyParkは現実にも現れていく展開ができる。